

# 谷中まちづくり学修ツアー

## 参加者募集

### 筑波支部会員限定企画



## 谷中「HAGISO」とは

谷中は昔懐かしい街並みが残る下町。萩荘は1955年から木造のアパートとして、2004年からは東京藝術大学の学生のアーティスト兼シェアハウスとして使われてきました。2011年老朽化のため解体されることに。入居者たちは、解体に先立ち、萩荘でグループ展「ハギエンナーレ2012」の開催を企画。萩荘に集まっていた学生やアーティストが、建物全体を使って作品を展示したところ、3週間の期間で1500人も人が訪れ萩荘の価値は見直され計画は一転、改修され生まれ変わることになったのです。

こうして2013年3月にできたのが最小文化複合施設「HAGISO」。萩荘の元住人、藝大卒の建築家である宮崎昇吉さんが設計を手がけました。ギャラリー（HAGI ART）、カフェ（HAGI CAFE）、レンタルスペース（HAGI ROOM）があります。

## 「まちの価値をどう見つけるか」

### まちづくりのヒントを探してみよう

かつて「古いまち」のイメージだった谷中。江戸・明治・大正・昭和の各時代の面影が点在しています。そういった谷中の価値を再発見した人達がまちの魅力を磨き直しました。東京藝術大学が近いだけでなく、古くから木彫や美術設営の職人が多数住んでいた谷中。そういったまちの歴史が地域の価値につながり今はアートのもちにもなっています。外からの視点とともに、住む人が地域の歴史や成り立ちを熟知するとまちの魅力は再発見されます。そしてその魅力から生まれた観光施策は、一時的なブームに左右されない、まち固有のものになるでしょう。訪れる人もまち自体に深い興味を持ち、ファンとなり、それが関係人口につながる観光となります。まちのファンが増えると、移住してくる人も増えてきます。1990年代から2000年代にかけて、谷中というまちそのものに惹かれた若者が多数移り住み、地域の一員として町内会やお祭りといったコミュニティへの参加意識が強いそうです。

このようなまちづくりモデルを実際に目で見て、つくばでのまちづくりのヒントを得るのが今回の学修目的です。

2025年 **6月21日(土)**

午前11:30 JR日暮里駅西口集合 (各自現地集合)

参加費: 1000円 (当日お支払い) 朝倉彫塑館入館料・昼食代込み  
散策予定

HAGISO (設計: HAGISO) カヤバ珈琲 (設計: 永山裕子氏)

谷中ぎんざ 根津神社 谷中霊園 朝倉彫塑館 等

午後5時頃 千代田線根津駅付近にて解散予定

(解散後希望者のみ反省会を計画しております)

※雨天決行 歩きやすい靴と服装でご参加ください

※当日は現地集合現地解散となりますのでご注意ください

参加者は **6/15** までに FAX にてお申し込みください **④筑波支部会員限定になります**



会員参加者	当日連絡先
反省会参加 希望する ・ 希望しない	食物アレルギーがある方はご記入ください

送付先 FAX 029-847-2230 地域デザイン委員会 (長谷川) まで